

## ■特長

- ・究極のリアルハイブリッド技術による無機成分の配合により、著しくすぐれた耐候性と耐久性を実現します。
- ・独自の反応硬化技術により、紫外線の透過を防止し、意匠性を活かして守ります。
- ・無機成分のセルフクリーニング技術により、すぐれた低汚染性を発揮します。
- ・美観を損なう藻やかびの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。
- ・原料に鉛やクロムなどの重金属を配合していないため、環境にやさしい塗料です。

## ■被塗物素材

- ・各種コンクリート・モルタル、鉄部などの塗装面
- ・各種窯業系サイディングボード、磁器タイル（ただし、居室を除く）  
※光触媒や強い撥水処理が施されたサイディングボードには適しません。

## 製品要綱

種類・色彩	ツヤあり、3分ツヤ（透明）	
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設などのサイディングボード外壁など 各種屋外塗装面、窯業系サイディングボードなどのクリヤー保護	
容量	主剤：12kg、硬化剤：3kg	
配合比	主剤：硬化剤 = 4：1	
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	0.11~0.13	
標準塗布面積(m <sup>2</sup> /15kgセット・回)	115~135	
希釈剤	塗料用シンナー	
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー	5~15
	エアレス	15~20
標準塗装回数	2	
可使時間	(5℃) 12時間 (23℃) 5時間 (30℃) 3時間	
指触乾燥時間	(5℃) 50分 (23℃) 25分 (30℃) 15分	
塗り重ね可能時間	(5℃) 8時間以上 (23℃) 4時間以上 (30℃) 2時間以上	
光沢	つや有り、3分つや	
特化則該当物質	主剤：該当物質なし 硬化剤：該当物質なし	
有機溶剤表示	主剤：第3種有機溶剤等 硬化剤：第3種有機溶剤等	
消防法による危険物区分	主剤：第4類 第二石油類（非水溶性） 硬化剤：第4類 第二石油類（非水溶性）	
材工価格（2024年4月現在）	¥3,800/m <sup>2</sup> （当該製品のみ・300m <sup>2</sup> 以上）	

## ■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・UVガード無機クリヤーは下地の状態がそのまま反映されます。高圧洗浄、水拭きにより除去できないエフロレッセンス、チョーキング部分、ゴミ、ほこり、泥、油分などの汚れがある場合は施工を避けてください。エナメル（着色）塗装をお奨めします。
- ・シーリング材は原則として、後打ちにて施工してください。やむを得ずシーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくることがあります。試し塗り後仕様を決めてください。
- ・3分つやで仕上げる場合、1回目の塗装はツヤありを塗装してください。
- ・希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

Copyright © 2024 ROCK PAINT All Rights Reserved.

2024.04